2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年7月30日

上場会社名 東海エレクトロニクス株式会社 上場取引所 名
 コード番号 8071 URL <https://www.tokai-ele.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 慎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部本部長 (氏名) 谷 徹雄 TEL 052-261-3211
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,288	25.0	472	243.3	460	167.2	356	473.7
2025年3月期第1四半期	13,720	17.0	137	74.5	172	69.0	62	82.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 394百万円 (3.2%) 2025年3月期第1四半期 382百万円 (53.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	168.44	164.33
2025年3月期第1四半期	29.55	28.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	27,900	17,770	63.3
2025年3月期	29,056	17,496	59.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 17,664百万円 2025年3月期 17,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		57.00		57.00	114.00
2026年3月期					
2026年3月期(予想)		57.00		57.00	114.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,300	25.2	450	12.8	450	9.3	240	6.9	113.65
通期	42,000	26.3	600	45.5	620	43.5	330	48.6	156.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 東海オートマチックス株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	2,360,263 株	2025年3月期	2,360,263 株
期末自己株式数	2026年3月期1Q	245,068 株	2025年3月期	248,468 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	2,115,081 株	2025年3月期1Q	2,101,709 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(企業結合等関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな回復が続いております。一方で世界経済においては、米国トランプ政権の関税政策、中国の不動産市場停滞の継続、中東情勢の緊迫化の影響も懸念され、景気の先行きは不透明感が増している状況となっています。

このような経済環境のもと、当社グループは2023年度からの3カ年計画である中期経営計画「Move for Future 2025：MF25」の最終年度を迎え、MF25のテーマである「1. 実行力！ミライの価値づくりに、さあ動き出そう～想いや経験を共有し、みんなで未来へ進もう～」、「2. 安心・安全な社会、緑豊かな環境を創ろう～エレクトロニクスのチカラでより良い社会を創ろう～」の方針に沿って、自動車、医療、環境・エネルギー、I o T・FA、ソフトウェアなどの各市場分野に対して、お客様視点に立ったソリューション提案を進めています。

その主な取り組みとして、橋梁など社会インフラの老朽化や故障などの社会課題に対して、I o Tを活用したシステム提案による未然防止などの解決に取り組んでいます。また、当社の海外拠点のネットワークを活かし、欧州のセンサーメーカーと協力関係を強化して最新技術を利用したセンサーを日本、中国、米国、東南アジアなど様々な地域のお客様に提案してビジネス拡大に取り組んでいます。

また、2025年度より当社グループは、エレクトロニクスのソリューションプロバイダーとして、未来の価値創造に向けた戦略的な取り組みを推進するため、自動車分野への取り組みが中心であった中部・関西第2カンパニーと中部・関西第3カンパニーを統合し、新たな中部・関西第2カンパニーとする体制としました。さらに、産業用ネットワーク機器、ハード設計・ソフト開発を含むアセンブリ製品等の取り扱いを主事業としてきた国内子会社の東海オートマチック株式会社を吸収合併し、中部・関西第1カンパニー営業第4部としました。本合併により経営資源を集約し組織運営を一体化させ、更なる業務品質の向上や営業力の強化を図る体制としました。

当第1四半期連結累計期間の主な市場分野別の業績について、自動車分野においては、東南アジア圏では欧州半導体メーカーとの取引が増加し半導体デバイスの販売が増加したことから前年同期を上回りました。一方で国内・中華圏・欧米圏においては、ルネサス エレクトロニクス株式会社との特約店契約解消に伴い、同社製品の取り扱いが終了したことから半導体デバイスの販売が減少し、自動車分野全体では前年同期を下回る結果となりました。FA・工作機械分野においては、中華圏でAI向け電子デバイスの販売が増加したことに加え、国内でも半導体製造装置向けや自動車関連設備向け電子デバイスの販売が増加したことなどから、国内外ともに前年同期を上回る結果となりました。情報通信分野においては、東南アジア圏でデータセンター向けやOA機器向け電子デバイスなどの販売が減少したことに加え、国内においても電子デバイスの販売が減少したことなどから、前年同期を下回る結果となりました。

市場分野別の売上に つきましては次のとおりであります。

(単位：千円)

市場分野別	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	構成比(%)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	構成比(%)	前期比(%)
自動車	9,914,854	72.3	6,217,396	60.4	△37.3
FA・ 工作機械	1,409,282	10.3	1,584,154	15.4	12.4
情報通信	1,412,526	10.3	1,167,538	11.4	△17.3
医療	199,721	1.4	445,087	4.3	122.9
環境	192,728	1.4	226,827	2.2	17.7
その他	591,825	4.3	647,804	6.3	9.5
合計	13,720,938	100.0	10,288,808	100.0	△25.0

上記の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は102億8千8百万円(前年同期比25.0%減)、営業利益4億7千2百万円(前年同期比243.3%増)、経常利益4億6千万円(前年同期比167.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億5千6百万円(前年同期比473.7%増)となりました。利益面の増加については、ルネサス エレクトロニクス株式会社製品の取り扱いが終了したことに伴い、当社グループで保有していた同社製品の補給在庫等を販売したことによります。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントの変更を行っており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいております。詳細は、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)Ⅱ 当第1四半期連結累計期間の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

○関東・甲信越カンパニー

F A・工作機械分野においては、中国向け需要の低迷が継続する中、販路拡大により制御ユニット用電子デバイスの販売や開発受託案件が増加しました。一方で自動車分野においては、電気自動車の販売低迷により電子デバイスや高機能材料の販売が減少したことなどから、売上高は9億1千1百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

○中部・関西第1カンパニー

F A・工作機械分野においては、中国の設備投資は依然低調であるものの、国内の半導体製造装置向けや自動車関連設備向け電子デバイスの販売は堅調に推移しました。また、医療分野においても、特需により電子デバイスの販売が増加したことから、売上高は21億1千万円（前年同期比19.4%増）となりました。

○中部・関西第2カンパニー

自動車分野においては、省エネルギーを目的とした電子デバイスの販売は増加しましたが、中国市場での自動車の販売不振などの影響により半導体デバイスの販売が減少しました。また、主要取引先であったルネサス エレクトロニクス株式会社との特約店契約解消により同社の製品販売が2025年3月をもって終了となったことから、売上高は38億2千2百万円（前年同期比42.4%減）となりました。

○オーバーシーズ・ソリューションカンパニー

F A・工作機械分野においては、中華圏でA I向け特需があり電子デバイスの販売が増加しました。一方で情報通信分野においては、東南アジア圏でのデータセンター向けにお客様の在庫調整により電子デバイスの販売が減少しました。また自動車分野においては、東南アジア圏では車載エアコン向け半導体デバイスの販売が堅調に推移しましたが、ルネサス エレクトロニクス株式会社との特約店契約解消に伴い、中華圏・欧米圏では半導体デバイスの販売が減少したことなどから、売上高は32億6千6百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

○システム・ソリューションカンパニー

航空宇宙分野においては、防衛関連向け新規試験装置での受注が増加しました。一方で建築事業分野においては、オフィスビルや工場等の新規設備工事の受注は増加しましたが、学校や病院での既存設備の改修工事の受注が減少したことなどから、売上高は1億7千8百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

セグメント別の売上につきましては次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	構成比(%)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	構成比(%)	前期比(%)
関東・甲信越 カンパニー	1,069,983	7.8	911,639	8.9	△14.8
中部・関西 第1カンパニー	1,767,424	12.9	2,110,116	20.5	19.4
中部・関西 第2カンパニー	6,634,334	48.4	3,822,118	37.2	△42.4
オーバーシーズ・ ソリューション カンパニー	4,065,399	29.6	3,266,275	31.7	△19.7
システム・ ソリューション カンパニー	183,795	1.3	178,658	1.7	△2.8
合計	13,720,938	100.0	10,288,808	100.0	△25.0

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産・負債・純資産の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は279億円となり、前連結会計年度末に比べ11億5千5百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が25億5千4百万円、売上債権等が1億9千7百万円など増加しましたが、棚卸資産が39億6千5百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は101億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億3千万円の減少となりました。主な要因は、仕入債務が5億1千6百万円、短期借入金が11億5千万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は177億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千4百万円の増加となりました。主な要因は、配当金1億2千万円の支払いがありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益3億5千6百万円の計上があったことから利益剰余金が2億3千5百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、ルネサス エレクトロニクス株式会社製品の取り扱いが終了したことに伴い、当社グループで保有していた同社製品の補給在庫等を販売したことにより、一時的に収益率が向上しておりますが、当初業績予想に織り込んでいたものとなるため、2025年4月28日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,254,189	5,809,088
受取手形、売掛金及び契約資産	9,587,920	7,307,764
電子記録債権	1,576,895	4,054,829
棚卸資産	8,741,466	4,776,247
その他	339,451	381,746
流動資産合計	23,499,924	22,329,676
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,902,985	1,902,985
その他(純額)	596,118	631,232
有形固定資産合計	2,499,103	2,534,217
無形固定資産		
投資その他の資産	46,193	42,162
投資有価証券	1,867,403	1,904,525
その他	1,143,465	1,089,599
投資その他の資産合計	3,010,868	2,994,125
固定資産合計	5,556,166	5,570,505
資産合計	29,056,090	27,900,182
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,081,855	3,416,144
電子記録債務	1,334,907	1,483,995
短期借入金	1,150,000	—
未払法人税等	101,248	55,484
賞与引当金	227,816	142,137
役員賞与引当金	184,036	30,690
その他	599,485	1,078,703
流動負債合計	7,679,349	6,207,155
固定負債		
長期借入金	3,000,000	3,000,000
退職給付に係る負債	419,569	411,872
その他	460,855	510,552
固定負債合計	3,880,424	3,922,425
負債合計	11,559,774	10,129,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,075,396	3,075,396
資本剰余金	2,511,066	2,511,078
利益剰余金	10,988,930	11,224,830
自己株式	△517,337	△510,258
株主資本合計	16,058,055	16,301,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	939,259	962,096
土地再評価差額金	△662,775	△662,775
為替換算調整勘定	1,048,823	1,064,367
その他の包括利益累計額合計	1,325,307	1,363,688
新株予約権	112,952	105,865
純資産合計	17,496,316	17,770,601
負債純資産合計	29,056,090	27,900,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	13,720,938	10,288,808
売上原価	12,216,427	8,529,563
売上総利益	1,504,511	1,759,244
販売費及び一般管理費	1,366,978	1,287,133
営業利益	137,533	472,111
営業外収益		
受取利息	12,043	9,757
受取配当金	15,042	22,178
仕入割引	1,240	1,150
為替差益	13,255	—
不動産賃貸料	7,576	7,576
その他	1,109	1,296
営業外収益合計	50,269	41,960
営業外費用		
支払利息	8,361	11,053
売上債権売却損	4,385	—
為替差損	—	40,085
不動産賃貸原価	2,848	2,766
その他	1	5
営業外費用合計	15,596	53,910
経常利益	172,205	460,161
税金等調整前四半期純利益	172,205	460,161
法人税、住民税及び事業税	19,461	48,455
法人税等調整額	90,646	55,432
法人税等合計	110,107	103,887
四半期純利益	62,098	356,273
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,098	356,273

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	62,098	356,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△282	22,837
為替換算調整勘定	320,476	15,543
その他の包括利益合計	320,193	38,380
四半期包括利益	382,291	394,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	382,291	394,653

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	関東・甲信越 カンパニー	中部・関西第 1カンパニー	中部・関西第 2カンパニー	オーバーシーズ・ ソリューション カンパニー	システム・ ソリューション カンパニー	
売上高						
外部顧客への売上高	1,069,983	1,767,424	6,634,334	4,065,399	183,795	13,720,938
セグメント間の内部 売上高又は振替高	294,085	156,570	73,793	619,375	4,997	1,148,823
計	1,364,069	1,923,995	6,708,128	4,684,775	188,793	14,869,762
セグメント利益又は セグメント損失	53,476	60,845	174,050	34,377	△7,965	314,784

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	314,784
セグメント間取引消去	△5,227
全社費用(注)	△172,023
四半期連結損益計算書の営業利益	137,533

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	関東・甲信越 カンパニー	中部・関西第 1カンパニー	中部・関西第 2カンパニー	オーバーシーズ・ ソリューション カンパニー	システム・ ソリューション カンパニー	
売上高						
外部顧客への売上高	911,639	2,110,116	3,822,118	3,266,275	178,658	10,288,808
セグメント間の内部 売上高又は振替高	209,609	184,069	114,000	790,647	4,169	1,302,497
計	1,121,249	2,294,185	3,936,118	4,056,923	182,828	11,591,305
セグメント利益又は セグメント損失	13,752	85,344	498,043	66,893	△22,971	641,061

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	641,061
セグメント間取引消去	4,694
全社費用(注)	△173,644
四半期連結損益計算書の営業利益	472,111

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2025年4月1日より、当社グループは、未来の価値創造に向けた戦略的な取り組みを推進するため、自動車分野への取り組みが中心であった中部・関西第2カンパニーと中部・関西第3カンパニーを統合し、新たな中部・関西第2カンパニーとする体制としました。これにより、報告セグメントの区分を従来の「関東・甲信越カンパニー」、「中部・関西第1カンパニー」、「中部・関西第2カンパニー」、「中部・関西第3カンパニー」、「オーバーシーズ・ソリューションカンパニー」、「システム・ソリューションカンパニー」の6セグメントから、「関東・甲信越カンパニー」、「中部・関西第1カンパニー」、「中部・関西第2カンパニー」、「オーバーシーズ・ソリューションカンパニー」、「システム・ソリューションカンパニー」の5セグメントに改編しております。

また、更なる業務品質の向上や営業力の強化を図るため、2025年4月1日付で、当社を吸収合併存続会社、当社の連結子会社である東海オートマチック株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行っております。この吸収合併により、従来、セグメント「システム・ソリューションカンパニー」に含めていた東海オートマチック株式会社が行っていた事業は、当社の事業に承継されているため、当第1四半期連結累計期間より当該事業部分を「中部・関西第1カンパニー」に含めてセグメント情報を作成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	37,690千円	64,829千円

(企業結合等関係)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2025年1月30日開催の取締役会決議に基づき、2025年4月1日を効力発生日として、当社100%出資の連結子会社であった東海オートマチックス株式会社を吸収合併いたしました。

合併の概要は以下のとおりであります。

1 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

(存続会社)

名称	東海エレクトロニクス株式会社
事業の内容	1. 社会インフラ向けシステムの開発と販売 2. 電子デバイス、半導体デバイス、高機能材料の開発と販売 3. ソフトウェア、組込モジュールの開発と販売

(消滅会社)

名称	東海オートマチックス株式会社
事業の内容	アセンブリ製品、コンポーネント製品販売

(2) 企業結合日 2025年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式とし、東海オートマチックス株式会社は解散いたしました。

(4) 結合後企業の名称 東海エレクトロニクス株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

当社は、更なる業務品質の向上や経営の効率化を図るため、当社の100%連結子会社であった東海オートマチックス株式会社を吸収合併いたしました。

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。